

平成 28 年度 第2回生駒市環境マネジメントシステム推進会議記録要旨

1 日時 平成 28 年 7 月 26 日(火)午前 9 時 30 分から午後 3 時 45 分

2 場所 生駒市コミュニティセンター 1 階文化ホール

3 出席者

○生駒市環境マネジメントシステム推進会議委員

青木委員、浦川委員、奥田委員、楠下委員、楠委員、小宮山委員、寒川委員、新海委員、辻垣委員
寺内委員、濱口委員、福中委員、宮崎委員、安井委員、矢田委員

○事務局

川島環境モデル都市推進課長、大窪環境モデル都市推進課課長補佐、北里地球温暖化対策係長、
坂東、上野、竹田

4 会議の要旨

(1)環境モデル都市推進課のヒアリング監査評価について(全ての委員を対象とした質疑応答)

・昨年から違うところとして、新しい評価方法と新しい評価基準の中身の是非については、見直すところも多いが、準備されたことに対して敬意を表する。

・かなり多くの取組をされているが、職員の人数からして負担が重いということは無いか？取組テーマがぼやけてしまうことは無いか？

→環境モデル都市推進課の業務の全てであり、当然課としてやらなければならない部分である。優先順位はつけてやらないとできない。また、環境保全課等、他部署との連携も必要であると考えている。

・連携されているとのことだが、一つのテーマについて複数部署がまたがって取り組まれているものについては、役割分担が明確になっているのか見直しをした上で取り組まれるようお願いしたい。

→イニシアティブを取って横軸を通していくのが環境モデル都市推進課の役割と思っている。

・全体像が見えた上で個々の項目はここまで進んでいる等、進捗を把握する必要がある。例えば、一つの取組だけ突出していても成果は出ない。バランスよく進捗する必要があると思う。それが見えないと評価できない。

また、取組の中で、一つだけ「これは絶対にやる」というのはどれか？

→エネルギービジョンでは、具体的に 2030 年度までの目標に掲げているが数値を判り易くするというのは必要だと思う。

また、柱となっているのは地域エネルギー会社をどう組成していくかである。電力の売買に加え、市民生活を便利にしたり経済活性化につなげたりと、そこまで持っていくのが大きなテーマである。環境モデル都市推進課は地域活力創生部に所属しており、まちの活性化・魅力アップを軸にすえてやりたいと思っている。

・数値目標とそれぞれの結果が、生駒市全体で見たらどれだけの比率になるのかがわからない。例えば、補助金の交付数 100 件は生駒市の中でどういった位置づけになっているのかが明確になる必要がある。

→総合計画では、市域全体の住宅に対する太陽光発電システム普及数を目標において毎年進捗管

理をしているが、伝わっていないところもあるので、HP等活用してわかりやすく発信していきたい。

・環境モデル都市推進課の工程表がウェブ上にあった。個人の住宅等で HEMS の普及率を何%にすると記載があるが、何に対してのパーセンテージなのかが分かりにくい。母数や計画数が明確でないので評価できない。

→2030年のCO₂35%削減目標に対し、それまでどういうペースでどういう数値を持っていくか、ということ（例えば太陽光発電や HEMS 等の普及）だが、その説明が飛んでいて分かりにくいのは確かである。進捗管理の結果を出すときにわかりやすく出せるよう工夫したいと思う。

・進捗管理について、生駒市総合計画・エネルギービジョンの中で明確に目標設定されている。長期目標の中の短期目標の位置付けが明確化されるとわかりやすくなると思う。みどり公園課や都市計画課が進めている協働の事業については、どこと協働しているか分担先がわかるようにしてほしい。

(2)各班ヒアリング先の評価発表(仮評価から本評価で変わったところをメインに発表)

●1班

変更したのは金鷄の杜と生駒東小学校の帳票3。該当しないからチェックをつけていないだけで、ヒアリングをするときちゃんと対応されていることが判明した。

・生駒東小学校 社用車はないが、先生が家庭訪問するときには自転車を活用している。

・金鷄の杜 俊苑 エアコンの設定について、古いエアコンのため温度設定はできていないが部屋に温度計をつけて室温調整している。

など、概ね60%は対応していると判断したため、△から○に昇格させた。

●2班

・鹿ノ台中学校 グリーンフラッグ取得時に、生徒自らが工夫して取り組んでいる点が評価できたので帳票3を○から◎に変更。帳票3別紙については厳しく見られておりチェックが少なかったため、アドバイスとして再度見直して事務局に提出するよう伝えてある。

・俵口幼稚園 バザーでは俵口小学校と連携して衣服などの再利用をされており、独自性があるため帳票3を○から◎に変更している。

・環境モデル都市推進課 道路照明を無電極化に移行した点とカーボン・オフセットについて新たに取組まれた点を評価し、帳票3を◎に変えている。

●3班

・秘書課 市長自ら公共交通機関を使い、公用車の使用を控えている。市の環境配慮の観点を市長自ら表しており、評価できる。帳票3では待合室で環境行動に関するポスター等掲示により応接に来られる方にPRしているとのことだったが、写真を見るとLAS-Eの評価証明書を置いているだけだった。市の姿勢をアピールするのはよいが、効果の検証として検討・改善につなげてほしい。取組が来客者にとってわかりやすい掲示・PRになるよう改善をお願いしたい。

・経済振興課 無償貸与の電気自動車の活用として農業分野における環境負荷軽減化を積極的に推進すると共に、他課の事業とも連携を図っている。農業委員会のみならず、他の事業にも活用しているとのこと大きく評価できる。地産地消のサイクル検討として、イノシシ対策のマニュアルを作成し、遊休農地化を防ぐことにより対策をとっているということで大きく評価できる。事業所向け太陽光発電システムの整備についての支援融資の申請が無いというのは非常に残念である。課題に記載されているような改善を出来るだけ取り組んで次年度に期待したい。

・桜ヶ丘幼稚園 エネルギー使用量やコピー代等を数値化し、昨年と比較し環境問題に高い意識を

持って削減に取り組んでいる。園児の保護者や地域など他からの情報に対し、取組やすいものを積極的に導入している点も評価できる。

●4班

共通する点として、帳票3別紙について、設問内容等で回答しにくいもしくは不適切な内容、回答する必要が無い項目があったということで再度見直した結果、生駒小学校△→○、人事課○→◎、高山幼稚園△→○に変更になった。

- ・**生駒小学校** 節水レバーの切り替えを校長や職員らが自ら行っている。体育館の電灯を、点灯→白熱灯→白熱灯+水銀灯の3段階で切り替えをしている。この取組は体育館を利用する地域住民も巻き込んで実施している。環境教育の研究指定校になっており、教育研究所から指定された内容の取組がユニークであるため、帳票3を◎に変更している。
- ・**高山幼稚園** 過去何度も優良事例として挙げられているが継続ではなくこれまでから一歩踏み出しているところを評価し、帳票3を◎に変更した。エコ体験教室が自由参観から通常参観に格上げになった。新入職員に対するエコマニュアルが作成された。

●5班

いずれも帳票3別紙の評価に変更があった。

- ・**議会事務局** △→○ 勘違いがあり、帳票3で取り組んだものに関してだけ別紙に記入したとのことでほとんど空白だった。その場で見直してもらい、その結果、△から○になった。
- ・**生駒台小学校** 学校独自の職務から考えて該当しない項目があり分母を少なくしたので△→○となった。

(3)優良事例選定先について発表

●1班

・生駒東小学校

子供たちに意識を持たすため独自の取組が積極的に推進されていることに加えて、PTA 環境部・地域住民との協力が密であることにより取組の主体を広げていっている点が評価できる。ポイントは以下の5つである。

- ①5、6年生主体の委員会活動では、環境委員会が設けられている。先生も3名ついてカバーリングにあたられている。
- ②エコキッズや4年生の社会総合学習の中で、食品廃棄ロスやゴミ分別について出かけたり来校してもらったりして学習を進めている。
- ③家庭訪問時、教員は自転車を利用して廻っている。
- ④古紙回収については生徒だけでなくPTA、地域住民も一緒になり大きな成果を上げている。(古紙回収で100万円くらい。エコボーナスも30万円くらい。)
- ⑤徹底して残飯量0を目指し、外部講師に話をしてもらっている。

上記のような内容を実践し、数値に反映させ、学校がPTAや地域と一緒に活動を継続しており全体としてまとまっている。

●2班

・俵口幼稚園

- ①ゴミ削減と再利用を目指したバザーで、俵口小学校と連携して衣服・帽子・カバン等の残品・廃品が出ないようにしている。

②毎月エコだよりを資料配布に入れ込むことで保護者向けに啓発を行っている。

・鹿ノ台中学校

グリーンフラッグを取る為、生徒が中心となってワークショップを行い、それぞれの委員会(生徒会・整美委員・給食委員・文化委員など)でエコ活動に取り組んでいる。

・生駒山麓公園

- ①マイクロバスの送迎を行っていることについて独自性がある。
- ②自然と触れ合える行事などのイベントを多く行い、集客の工夫がされている。

・環境モデル都市推進課

- ①道路照明の無電極ランプ化
- ②カーボン・オフセットの導入

●3班

・南幼稚園

休日参観日にエコ参観を実施し、出前授業や環境に関する絵本・紙芝居コーナーが設けられる取組など家族みんなで学習できたと出席者にも好評であったこと。

●4班

・高山幼稚園

- ①エコ体験教室を自由参観から通常の参観に格上げしたこと。
- ②新入職員に対するエコマニュアルが作成されたこと。
- ③新入予定対象園児に対し環境教育をおこなったこと。

・生駒小学校

- ①体育館の電灯を、白熱灯・水銀灯の2種類を使用し状況に応じて使い分けを実践し、また、節水栓を自前で利用していること
- ②ボランティア・エコ委員会において児童が独自でシナリオからビデオを作製したこと。
- ③目で見える教育として、校長先生や教頭先生が絵本の読み聞かせを行っていること。
- ④事務職員による環境の研究活動。

人事課について、優良事例ではないが、①制服は100%リサイクルされていること。②エコ通勤を推奨されていること。③ペーパーレスとして勤怠申請をペーパーレス化したこと。④採用試験をPC使用に切り替えたことは報告しておきたい。

●5班

選出については、新規性、独自性、大きな成果が出ているかの観点でおこなった。

・生駒台小学校

最近取得されたグリーンフラッグだが、その取得にむけて課題であった“全員参加”について、理解が進みにくい低学年へ環境活動の浸透を目指して、紙芝居などわかりやすくする活動を行ったことは独自性がある。

・デイサービスセンター寿楽

一人ひとりの食事量を把握して再アセスメントした上で配食したことにより、残飯削減を行ったことは独自性がある。但し良くわからないので事務局から詳細を聞いてもらおうと思う。

・こども課

南こども園、生駒台幼稚園の太陽光発電設置・稼動に協力したことは成果が大きい。

・土木課

施工業者に対し、①再生資材の使用 ②廃材搬出先を再生資源化施設とする ③排出ガス対策 を義務付けたことは年間 30 件あるので成果が大きいのではないか。

(4) 事務局より

- ・今回のヒアリング先を除く所属に対するコメントは素案として入れているので、意見、改善点、表現がおかしい点、気がついたことがあれば本日配付のご意見シートに記入していただきたい。事務局で詳しく確認した上で報告書にまとめていく。
- ・今後の予定として、7/29 に環境マネジメントシステム推進会議専門チーム会議を開催し、数値目標について検討が終わってから、本日の内容と併せて 8 月中には監査報告書案を作成。環境マネジメントシステム推進会議会長・副会長に確認いただいたうえで各所属へのフィードバックを行いたい。
- ・第 1 回第 2 回と会議を終え、独自システムとしてはじめての取組で不備な点があったと思う。次年度に向けて改善すべき点、気付いた点のご意見シートで出して欲しい。